

平成27年度
予算特集



今年は
こんなことをやります

総額 858億円



ネーブルパーク ミニSL

平成27年度 古河市予算について

平成17年9月に合併した古河市は、今年で誕生10周年の節目の年を迎えます。

これまでの市政を検証し、さらなる発展・飛躍を目指して“まちづくり”を進めていく出発点となります。

平成27年度においても、多様化する市民のみなさまのニーズに的確に対応し喫緊の課題に対処するとともに、中長期的な視点から将来を見通した予算編成を行いました。

本予算特集号では、予算の概要や平成27年度の主要な実施事業、財政状況などを市民の皆様にはわかりやすくお示しいたします。



古河市長 菅谷 憲一郎

平成27年5月

古河市長 菅谷 憲一郎



もくじ

- 2ページ … 平成27年度予算の概要
- 3ページ … 平成27年度予算 歳入
- 4ページ … 平成27年度予算 歳出
- 5ページ … 平成27年度会計別予算
- 6ページ … 平成27年度古河市の主要な事業
- 15ページ … 市民1人・1世帯あたりの予算額
- 16ページ … 市の貯金
- 17ページ … 市の借金
- 18ページ … 財政の健全性
- 19ページ … 予算を「家計」にたとえると？

古河市合併10周年 記念キャラクター

くぼう あしかがしげうじ まんじゅおうまる
古河公方「足利成氏(幼名:万寿王丸)」

平成 27 年度 古河市の当初予算総額

858 億 7,971 万円

(参考：平成 26 年度当初予算総額 819 億 340 万円)

一般会計 498 億 3,000 万円

特別会計 360 億 4,971 万円

歳入

・国の社会保障制度拡充などによる国庫及び県支出金の増、給与所得の増加傾向による個人市民税の増、消費税率引上げに伴う地方消費税交付金の増などにより、増加しています。

歳出

・職員数の減少に伴い人件費は減少するものの、生活保護費、障害福祉介護給付費及び子ども・子育て支援新制度施行に伴う扶助費の増、小学校教育 ICT 整備事業（タブレット端末の整備）の増などにより、増加しています。

● 「予算（よさん）」とは・・・

古河市の1年間の収入（歳入）と支出（歳出）の見積りのことです。1年間でいくらの収入が見込まれていて、どのような事業にいくらのお金が使われるのかを定めています。

● 予算はどのように決められるのか・・・

皆さまの声や要望をもとに、さまざまな事業や施策が計画され、必要なお金の収支を考慮した予算案を市長が作成します。そのあと議会へ提出された予算案は市民の代表である議会の承認を得て決められます。



「9歳桃香」

©2013古河市文化協会/K.Asano#261271

● 「会計」とは・・・

会計とは、それぞれ使い道の異なる財布のようなものです。大きく分けて3種類の会計（財布）があります。

一般会計：基本的な行政サービスの会計（例 教育、福祉、道路など）

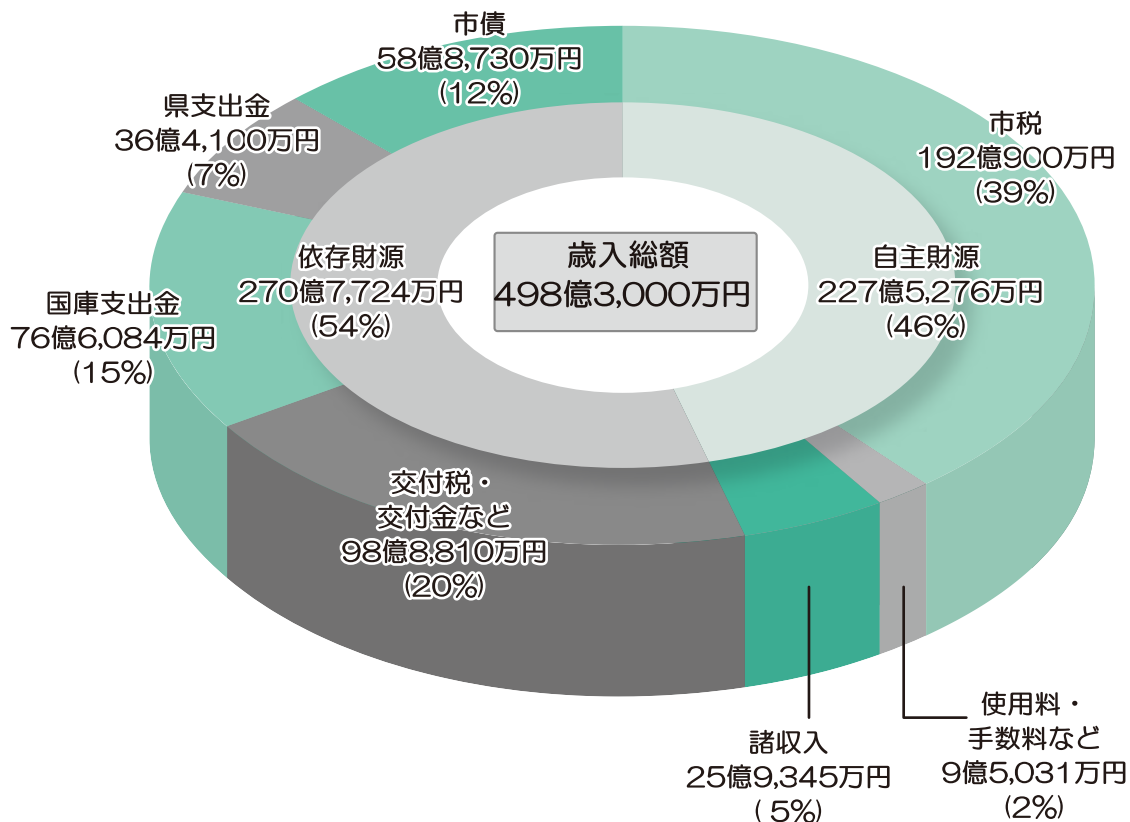
特別会計：特定の目的のために、特定の収入をそのサービスのために使う会計
（例 国民健康保険、介護保険、下水道など）

企業会計：使用料などの収益で事業をまかなう会計（例 水道事業）

平成27年度 一般会計

歳入 総額 498億3,000万円

平成27年度 古河市歳入（一般会計）の内訳



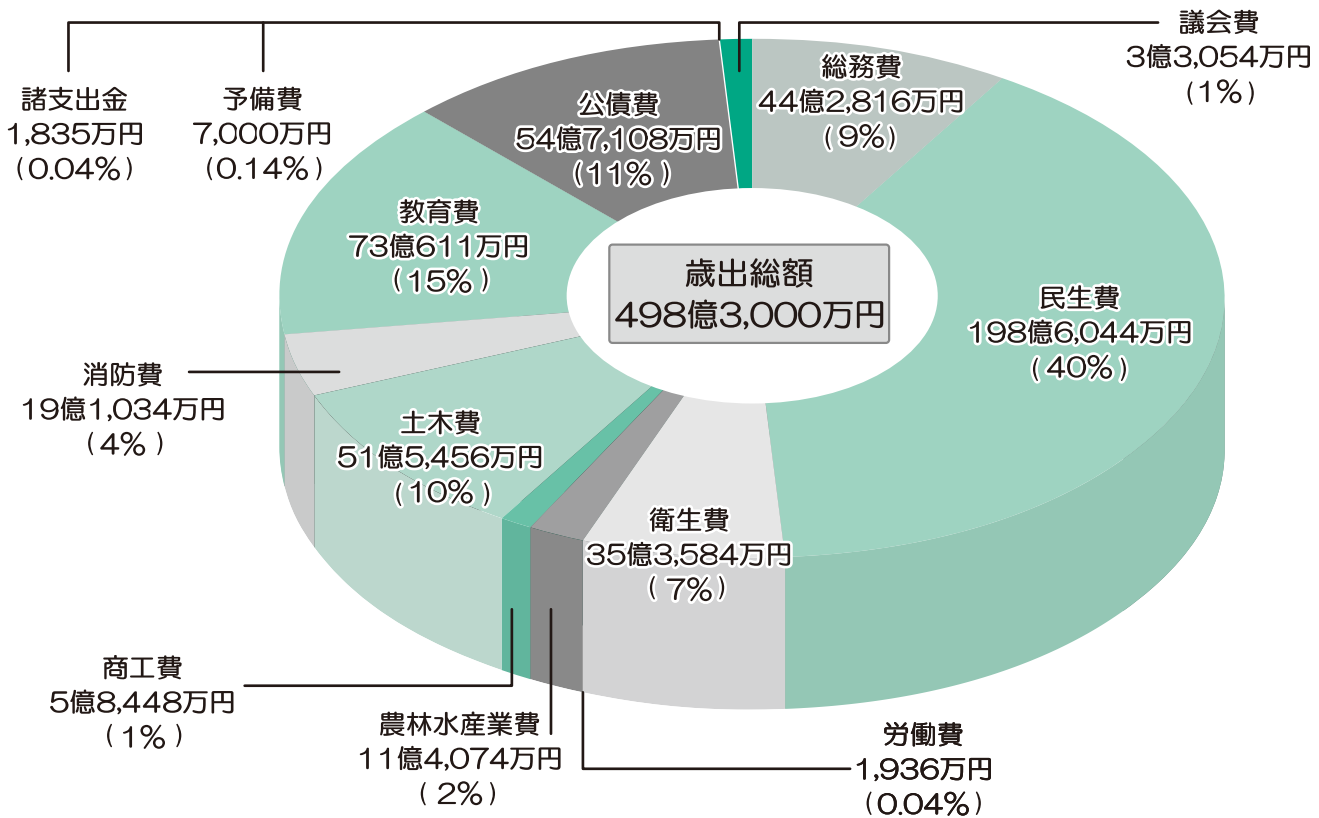
- 歳入には市税をはじめ、国や県から配分されるお金、借入金（市債）などさまざまなものがあります。
- 古河市が自主的に収入するお金（市税、使用料・手数料など）を「自主財源」といい、また国や県に依存して収入するお金（交付税、国庫支出金など）を「依存財源」といいます。

市税の主な内訳

税目	歳入予算額	前年度予算額	前年度比
個人市民税	70億6,600万円	69億6,600万円	+ 1.4%
法人市民税	18億3,500万円	18億 270万円	+ 1.8%
固定資産税	78億1,700万円	78億3,000万円	△0.2%
軽自動車税	2億8,500万円	2億8,130万円	+ 1.3%
たばこ税	11億8,400万円	12億2,600万円	△3.4%
都市計画税	10億2,200万円	10億5,300万円	△2.9%

歳出 総額 498億3,000万円

平成27年度 古河市歳出（一般会計）の内訳



●歳出は、それぞれの経費の目的ごとに「議会費」、「総務費」、「民生費」など、全部で14種類に分けられています。

主な目的別経費の内訳

	歳出予算額	前年度予算額	前年度比
民生費	198億6,044万円	179億6,152万円	+10.6%
高齢福祉費	17億6,066万円	17億1,126万円	+2.9%
児童福祉費	77億6,076万円	63億1,445万円	+22.9%
生活保護費	35億7,428万円	34億1,739万円	+4.6%
土木費	51億5,456万円	49億3,441万円	+4.5%
土木管理費	4億4,507万円	3億9,222万円	+13.5%
道路橋梁費	14億9,399万円	12億5,045万円	+19.5%
都市計画費	30億5,101万円	31億2,771万円	△2.5%
教育費	73億 611万円	84億6,848万円	△13.7%
小学校費	25億5,463万円	23億9,902万円	+6.5%
中学校費	9億4,458万円	3億4,451万円	+174.2%
社会教育費	12億1,905万円	10億9,416万円	+11.4%
学校給食費	10億8,790万円	31億5,712万円	△65.5%

会計別予算

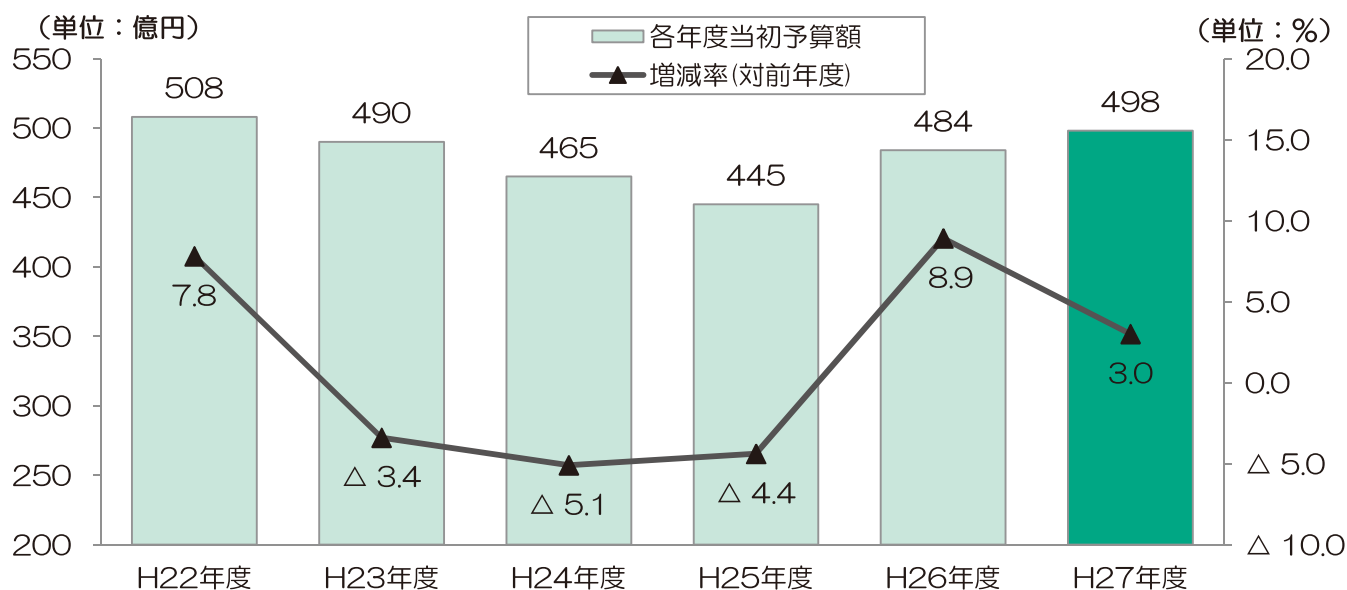
会計名	平成27年度予算	平成26年度予算	比較	増減率(%)
一般会計	498億3,000万円	484億円	+14億3,000万円	+3.0

◇その他の会計

会計名	平成27年度予算	平成26年度予算	比較	増減率(%)	
特別会計	国民健康保険（事業勘定）	192億3,600万円	164億4,600万円	+27億9,000万円	+17.0
	国民健康保険（直診勘定）	6,850万円	6,920万円	△70万円	△1.0
	古河福祉の森診療所	1億5,940万円	1億8,470万円	△2,530万円	△13.7
	後期高齢者医療	11億3,120万円	11億 30万円	+3,090万円	+2.8
	介護保険（保険事業勘定）	95億 300万円	87億8,500万円	+7億1,800万円	+8.2
	介護保険（介護サービス事業勘定）	4,950万円	6,610万円	△1,660万円	△25.1
	公共下水道事業	39億6,700万円	42億2,900万円	△2億6,200万円	△6.2
	農業集落排水事業	6億6,900万円	7億6,170万円	△9,270万円	△12.2
	ゴルフ場事業	9,101万円	9,100万円	+1万円	0.0
	古河駅東部土地区画整理事業	6億8,310万円	11億3,130万円	△4億4,820万円	△39.6
	片田南西部土地区画整理事業	2億9,580万円	4億4,080万円	△1億4,500万円	△32.9
	公共用地先行取得	1億9,620万円	1億9,830万円	△2,100万円	△1.1
	特別会計 合計	360億4,971万円	335億 340万円	+25億4,631万円	+7.6
水道事業会計	40億3,711万円	44億7,665万円	△4億3,954万円	△9.8	
合計	400億8,682万円	379億8,005万円	+21億 677万円	+5.5	

※ 水道事業会計は、収益的支出と資本的支出の合計になります。

一般会計予算の推移

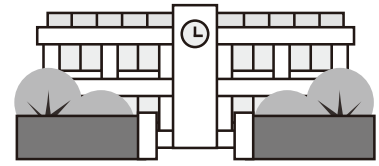


平成27年度予算 古河市の主要な事業

教育文化〔健やかな市民と文化を育む“人”づくり〕

- 古河塾による学習環境の提供
- 小学校ICT教育の推進
- ティーム・ティーチング授業の充実
- 学習環境等の向上

など



福祉健康〔互いに支え合う福祉と健康の“社会”づくり〕

- 子ども・子育て支援の充実
- 古河市子ども・子育て支援財団への支援
- 子育て支援の拠点構想の策定
- 特定不妊治療費の助成

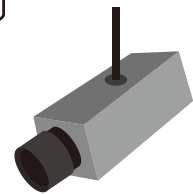
など



生活環境〔自然と共生した安全で快適な“暮らし”づくり〕

- 防災行政無線の整備
- 防犯カメラの設置
- 防犯灯設備の充実
- ゴミの収集・処分

など



コミュニティ・行政〔市民主体の行政とみんなで築く“地域”づくり〕

- コミュニティ活動の育成・強化
- 合併10周年記念特別事業
- 姉妹都市交流の推進

など



産業労働〔活力と元気にあふれた人の集まる“魅力”づくり〕

- 若者・子育て世帯の定住促進
- 銘柄産地育成への支援
- 地域農業担い手の育成

など



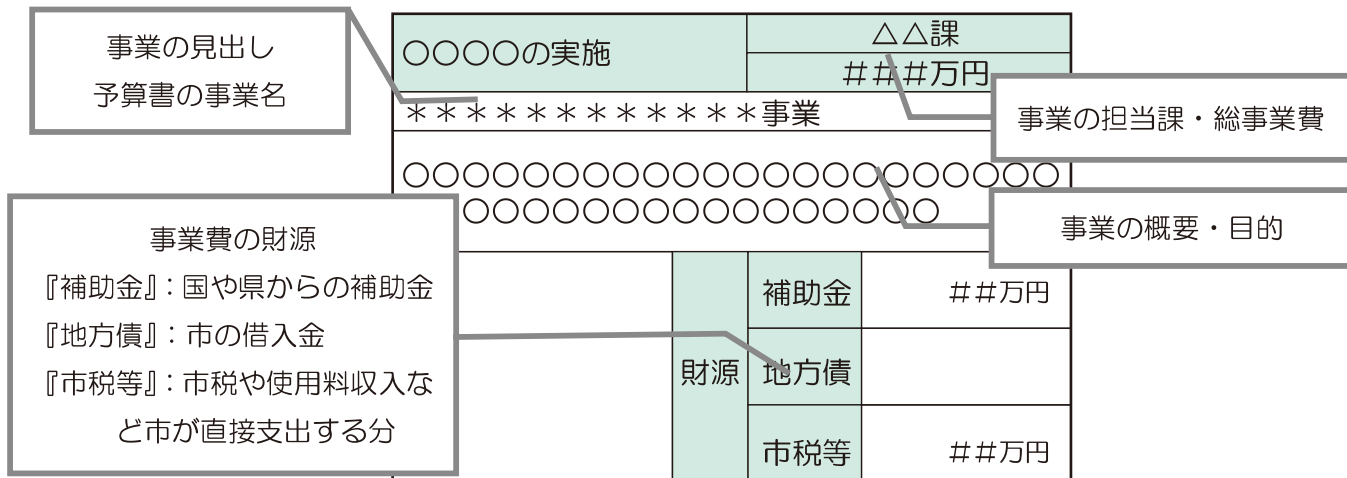
都市基盤〔みらいを見据えた都市の“基盤”づくり〕

- 筑西幹線道路西側延伸の整備
- 新4号国道アクセス道路の整備
- 公園の整備

など



- 平成27年度に古河市が実施する事業のなかで、主要なものを紹介します。
- 事業の概要や事業費、財源を記載しています。




教育文化 ～健やかな市民と文化を育む“人”づくり～


古河塾による学習環境の提供 [新規]	指導課 5,026万円								
古河塾推進事業									
市内全小中学校において、児童生徒を対象に放課後学習支援の場を提供します（小学校1時間、中学校1時間30分）。									
	<table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%; text-align: center;"> <tr><td colspan="2" rowspan="3" style="width: 20%;">財源</td><td style="width: 20%;">補助金</td><td style="width: 60%;"></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>市税等</td><td>5,026万円</td></tr> </table>	財源		補助金		地方債		市税等	5,026万円
財源				補助金					
				地方債					
		市税等	5,026万円						


小学校ICT教育の推進	教育環境整備課 1億8,469万円								
小学校教育ICT整備事業									
タブレット端末、大型ディスプレイ、実物投影機などのICT機器を配置し、デジタル教科書等を活用した授業を展開します。									
	<table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%; text-align: center;"> <tr><td colspan="2" rowspan="3" style="width: 20%;">財源</td><td style="width: 20%;">補助金</td><td style="width: 60%;"></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>市税等</td><td>1億8,469万円</td></tr> </table>	財源		補助金		地方債		市税等	1億8,469万円
財源				補助金					
				地方債					
		市税等	1億8,469万円						


チーム・ティーチング授業の充実 [拡充]	教育総務課 1億111万円								
学校教育支援事業									
チーム・ティーチング授業として、各小・中学校に教育活動指導員を配置します。今年度は大規模校に指導員を追加配置します。									
	<table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%; text-align: center;"> <tr><td colspan="2" rowspan="3" style="width: 20%;">財源</td><td style="width: 20%;">補助金</td><td style="width: 60%;"></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>市税等</td><td>1億111万円</td></tr> </table>	財源		補助金		地方債		市税等	1億111万円
財源				補助金					
				地方債					
		市税等	1億111万円						

学習環境等の向上 [拡充]	教育環境整備課 9億4,520万円								
小学校環境整備事業・中学校環境整備事業									
空調設備の設置、トイレの洋式化改修工事、校庭のスプリンクラーの設置など、学習環境の向上を図ります。									
	<table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%; text-align: center;"> <tr><td colspan="2" rowspan="3" style="width: 20%;">財源</td><td style="width: 20%;">補助金</td><td style="width: 60%;">1億3,534万円</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>5億9,610万円</td></tr> <tr><td>市税等</td><td>2億1,376万円</td></tr> </table>	財源		補助金	1億3,534万円	地方債	5億9,610万円	市税等	2億1,376万円
財源				補助金	1億3,534万円				
				地方債	5億9,610万円				
		市税等	2億1,376万円						

小学校の改築	教育環境整備課		
	9億883万円		
古河第一小学校改築事業・古河第二小学校改築事業			
平成27年度の完成をめざし改築工事など（体育館の解体・改築・外構）を実施しています。			
	財源	補助金	1億3,749万円
		地方債	7億2,990万円
		市税等	4,144万円

青少年ホーム代替施設の建設 [新規]	施設管理課		
	1億1,752万円		
青少年ホーム代替施設建設事業			
平成28年度の完成をめざして、老朽化した青少年ホームを解体し、新たに代替施設を建設します。			
	財源	補助金	
		地方債	1億1,140万円
		市税等	612万円

(仮称)三和地域交流センターの建設 [新規]	施設管理課		
	1億1,642万円		
(仮称)三和地域交流センター建設事業			
老朽化した三和公民館を解体し、ホールなどの不足施設を、新たに(仮称)三和地域交流センターとして建設します。			
	財源	補助金	1,960万円
		地方債	8,820万円
		市税等	862万円

中央運動公園テニスコート照明の改修 [新規]	スポーツ振興課		
	5,922万円		
中央運動公園整備事業			
中央運動公園テニスコートの老朽化した照明灯の改修工事を実施します。LED化により照明電気料やCO2排出量の削減を図ります。			
	財源	補助金	2,000万円
		地方債	3,520万円
		市税等	402万円

注目事業ピックアップ

○ 古河塾による学習環境の提供

時代の変化に合わせた学習環境を

市内の全小中学校において、基礎学力の向上や学習習慣の定着を図るため、「古河塾」として放課後学習の場を提供します。各学校では、配置された2名のサポーターが児童生徒の指導にあたり、教材は各校に整備されたタブレットを活用し、ネット配信された問題を使用します。




～？ちょっと補足？～


・なぜ市が借金をするの？


…●市が借り入れるお金（市債）は、学校や道路などの公共施設の建設・改修にあたり、一時期に多額のお金が必要になる場合に活用します。また公共施設は長期間にわたって将来の市民も利用するため、将来その施設を利用する人にも、公平にその建設・改修費用を負担してもらうという観点からも活用されるものです。

●古河市では、返済（償還）するお金の7割が国から交付税として補填される「合併特例債」を主に活用しています。

福祉健康～互いに支え合う福祉と健康の“社会”づくり～

子ども・子育て支援の充実 実 [拡充]	子育て対策課 30億8,894万円
子ども・子育て支援新制度事業	
特定教育、保育施設への扶助や認定こども園への移行にともなう施設整備補助など、子育てに関するサービスの整備を計画的に進めます。	
	補助金 20億9,205万円
	財源 地方債 1,330万円
	市税等 9億8,359万円

古河市子ども・子育て支援財団への支援 [新規]	子育て対策課 767万円
子育て支援団体活動支援事業	
子育て支援施策のさらなる充実を図るため「一般財団法人古河市子ども・子育て支援財団」の活動に対して支援を行います。	
	補助金
	財源 地方債
	市税等 767万円

子育て支援の拠点構想の策定 [新規]	子育て対策課 4,032万円
保育総務事業、上辺見保育所施設整備事業	
古河赤十字病院跡地を「子育て支援の拠点」と位置付け、老朽化した上辺見保育所の移転を含めた施設整備の基本構想を策定します。	
	補助金
	財源 地方債 2,960万円
	市税等 1,072万円



注目事業ピックアップ

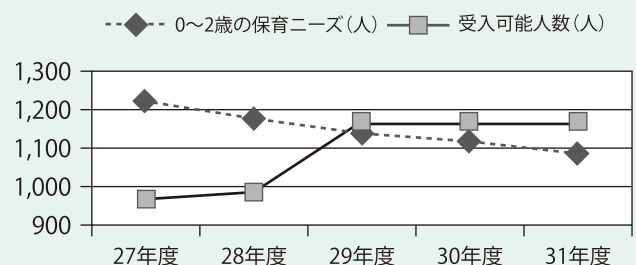
○ 子ども・子育て支援の充実

子ども・子育て支援新制度がスタートします


平成27年4月から「子ども・子育て支援新制度」がスタートします。この制度は「量の拡充」として、認定こども園などへの移行を進め、待機児童の解消を図るとともに、「質の向上」として地域の子育ての実情に応じたさまざまな支援を行う制度です。


古河市においても、幼児期の教育・保育、子育て支援のニーズを把握し、「量の拡充」と「質の向上」を計画的に進めます。


【古河市】0～2歳の保育ニーズと受入れ可能人数の推移(見込み)




平成29年度を目途に保育所の受け入れ態勢が整わない「待機児童」を解消するため、児童の受入れ体制を整備していきます。

特定不妊治療費の助成 [新規]	健康づくり課	898万円
不妊治療費助成事業		
特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）にかかる経済的負担の軽減を図るため、その治療費の一部を助成（上限5万円）します。		
	財源	補助金
		地方債
		市税等 898万円

小児用インフルエンザ予防接種の助成 [新規]	健康づくり課	2,331万円
小児用インフルエンザワクチン接種事業		
生後6か月から高校3年生相当年齢までの人を対象に、インフルエンザ予防接種料の一部を助成（1回につき1,000円）します。		
	財源	補助金
		地方債
		市税等 2,331万円

20歳までの医療費助成の拡大 [拡充]	国保年金課	1億2,863万円
医療費助成（市単）事業		
古河市独自の医療費助成制度（マル古）が、6月1日より新たに20歳までの学生に限り、医療費の一部助成を拡大します。		
	財源	補助金
		地方債
		市税等 1億2,863万円

敬老祝い金の贈呈	高齢福祉課	2,035万円
敬老事業		
特定の年齢に達する高齢者の方々に敬老祝い金を贈呈し、その長寿を祝福するとともに高齢者福祉の増進を図ります。		
	財源	補助金
		地方債
		市税等 2,035万円

注目事業ピックアップ

○ 20歳までの医療費助成の拡大


子育てにかかる経済的負担の軽減


現在、古河市では茨城県の医療福祉費支給制度（マル福）の対象外となる乳児から18歳までの人に対し、独自の医療費助成制度（マル古）で医療費の一部助成を実施しています。平成27年度は、6月1日から新たに20歳までの学生に限り、医療費の一部助成を拡大します（対象者の所得制限あり）。


(古) 医療費助成受給者証	
公費負担者番号	9 4 0 8 0 0 4 1
受給者番号	
被保険者証等の記号及び番号	
保険種別	
保険者番号	
受給者	住所
	氏名
	生年月日
有効期間	自 平成27年 6月 1日 至 平成28年 3月 31日
発行機関名及び印	茨城県 古河市 印
交付年月日	平成27年 6月 1日


マル古の受給者証

生活環境～自然と共生した安全で快適な“暮らし”づくり～

防災行政無線の整備 〔拡充〕	危機管理防災課	9,940万円	
防災行政無線等維持管理事業			
河川沿岸の公共施設にデジタル防災行政無線の設置等を行うとともに、市役所三和庁舎にある親局のデジタル化工事を行います。			
	財源	補助金	
		地方債	9,930万円
		市税等	10万円

防犯カメラの設置 〔新規〕	交通防犯課	1,044万円
防犯対策事業		
平成27年度より3か年で防犯カメラ100基を新たに設置し、適切な犯罪防止対策を行います。		
	財源	補助金
		地方債
		市税等

防犯灯設備の充実 〔拡充〕	交通防犯課	9,460万円	
防犯灯整備事業			
防犯灯の設置及び保守管理を行い、犯罪及び事故などの未然防止を図ります。			
	財源	補助金	
		地方債	2,190万円
		市税等	7,270万円

ゴミの収集・処分	環境課	19億3,061万円
ごみ収集関連事業		
各家庭から出る、ゴミの収集や処分に関する業務や処分場などの施設管理を行います。		
	財源	補助金
		地方債
		市税等

注目事業ピックアップ


○ 防犯カメラの設置、防犯灯設備の充実


子どもや地域の安心・安全のために


年次計画にて古河駅周辺、小・中学校付近の通学路や主要交差点を中心に防犯カメラを設置します。あわせて防犯灯を設置・保守管理することで、市内道路の暗がり解消し、犯罪や事故などを未然に防止します。




コミュニティ・行政 ～市民主体の行政とみんなで築く“地域”づくり～

コミュニティ活動の育成・強化	市民協働課	1,507万円
コミュニティ推進事業		
コミュニティ活動の活性化を図るため、地区コミュニティに財政的な支援を行います。		
	財源	
	補助金	
	地方債	
	市税等	1,507万円

合併10周年の記念事業 〔新規〕	企画課	2,650万円
合併10周年記念特別事業		
記念式典、市の鳥・市の魚の制定など、合併10周年を記念する事業を実施します。		
	財源	
	補助金	
	地方債	
	市税等	2,650万円

姉妹都市交流の推進	企画課	439万円
姉妹都市交流推進事業		
姉妹都市である栃木県さくら市、福井県大野市、山形県真室川町と連携し、さまざまな分野での交流を推進します。		
	財源	
	補助金	
	地方債	
	市税等	439万円

第2次総合計画の策定	企画課	940万円
第2次総合計画（基本計画）策定事業		
社会変化に対応した今後のまちづくりの基本となる第2次総合計画を策定します。		
	財源	
	補助金	
	地方債	
	市税等	940万円

注目事業ピックアップ

○ 合併10周年の記念事業

古河市は本年9月12日に合併10周年

平成27年度は合併から10年の節目の年となります。記念式典の開催をはじめ合併10周年を記念した事業を実施します。また、記念キャラクターやロゴを活用するほか、既存の事業に合併10周年記念などの冠を付けて実施することで、合併10周年を盛り上げていきます。

～主な実施予定事業～


合併10周年記念式典
市の鳥・市の魚制定
施設愛称募集 など





記念キャラクター


古河市出身のアニメーター・浅野恭司あさのきょうじさんが、古河公方「足利成氏あしかがしげうじ（幼名：万寿王まんじゅうおう丸）」の11歳頃をイメージして描き、市に寄贈していただいたものを、記念キャラクターとして採用しました。

産業労働 ～活力と元気にあふれた人の集まる“魅力”づくり～

若者・子育て世帯の定住促進 [新規]	商工政策課		
	8,968万円		
若者・子育て世帯定住促進奨励事業			
企業誘致等にもなう若者・子育て世帯の転入者に対し、奨励金(交付要件あり、最大100万円)を交付します。			
	財源	補助金	4,478万円
		地方債	
		市税等	4,490万円

銘柄産地育成への支援	農政課		
	240万円		
青果物銘柄産地育成事業			
農協、生産者団体と協力しながら、産地のPRや銘柄農産物の加工による高付加価値化に向けての取り組みを支援します。			
	財源	補助金	
		地方債	
		市税等	240万円

地域農業担い手の育成	農政課		
	479万円		
地域農業担い手育成事業			
新規就農者や就農意欲の喚起、農業経営の安定などのための助成や給付などを行います。			
	財源	補助金	300万円
		地方債	
		市税等	179万円

観光イベントの充実	観光物産課		
	5,318万円		
イベント事業			
年間を通してさまざまなイベントや祭り(桃まつり、花火大会、盆踊り大会、菊まつり、提灯竿もみまつりなど)を開催します。			
	財源	補助金	
		地方債	
		市税等	5,318万円

注目事業ピックアップ

○ 若者・子育て世帯の定住促進


新しい人の流れをつくる


企業誘致などにもなって、若者・子育て世帯に対する定住促進を図ります。古河駅前にワンストップ窓口として、『古河市「若者・子育て世帯」定住促進サポートセンター』を設置し、移転に向けた情報発信をしていきます。また、市内金融機関や宅建業者と協定し、金利優遇プログラムや不動産情報を提供していきます。





古河市「若者・子育て世帯」定住促進サポートセンターの開所式の様子

都市基盤～みらいを見据えた都市の“基盤”づくり～

筑西幹線道路西側延伸の整備	都市計画課		
	1億140万円		
筑西幹線道路整備事業			
筑西幹線道路の西側延伸として新4号国道～県道境間々田線までを整備します。平成27年度は用地調査・用地取得を主に行います。			
	財源	補助金	3,630万円
		地方債	4,400万円
		市税等	2,110万円

新4号国道アクセス道路の整備	都市計画課		
	2億1,109万円		
新4号国道アクセス道路整備事業			
野木町との協力のもと、三和地区北部と野木町（野木駅）とのアクセスとして本路線を整備します。			
	財源	補助金	1億1,120万円
		地方債	4,530万円
		市税等	5,459万円

公園の整備	都市計画課		
	9,628万円		
公園整備事業、ネーブルパーク整備事業、総合公園整備事業			
市民のレクリエーションの場の創出を図るため、公園の整備を進めます。			
	財源	補助金	490万円
		地方債	8,020万円
		市税等	1,118万円

道路の新設改良	〔拡充〕	道路整備課	
		7億9,716万円	
道路新設改良事業			
地域住民の利便性と安全性の向上を図るため、未改良の生活道路などの整備を行います。			
	財源	補助金	1億6,650万円
		地方債	5億9,620万円
		市税等	3,446万円

注目事業ピックアップ

○ 公園の整備

レクリエーションの場の創出

平成27年度の主な事業

- ・旧三和地区のメディカルセンター跡地を公園とするための設計
- ・諸川商店街にポケットパーク（小さな公園）を整備するための設計
- ・ネーブルパークのキャンプ受付を含めた管理用倉庫の設置
- ・古河総合公園の花桃の植栽工事














平成26年度に整備完了となったネーブルパークのミニSL

市民1人・1世帯あたりの 予算額

●住基人口 145,031人

●世帯数 58,300戸（平成27年3月1日現在）

●平成27年度の古河市の歳出を人口、世帯数で割ることにより、一人あたりもしくは一世帯あたりの歳出予算額がわかります。

<p>予算総額</p> <p>34万3,582円（1人） 85万4,717円（1世帯）</p>	<p> 議会費</p> <p>2,279円 5,670円</p> <p>議会活動のための経費</p>	<p> 総務費</p> <p>3万 533円 7万5,955円</p> <p>住民登録や、課税・納税、広報など 総務部門のための経費</p>	<p> 民生費</p> <p>13万6,939円 34万 659円</p> <p>児童福祉や、高齢者福祉、障がい福祉、 生活保護など福祉のための経費</p>
<p> 衛生費</p> <p>2万4,380円 6万 649円</p> <p>健康診断・予防接種などの保健衛生や ごみの収集・処理などのための経費</p>	<p> 農林水産業費</p> <p>7,865円 1万9,567円</p> <p>農業振興・畜産振興や、土地改良事業 などのための経費</p>	<p> 商工費</p> <p>4,030円 1万 25円</p> <p>商工業の振興や、各種イベントなど 観光振興のための経費</p>	<p> 土木費</p> <p>3万5,541円 8万8,415円</p> <p>道路や河川、公園などの整備や 維持管理のための経費</p>
<p> 消防費</p> <p>1万3,172円 3万2,767円</p> <p>消防や救急活動、防災のための経費</p>	<p> 教育費</p> <p>5万 376円 12万5,319円</p> <p>小中学校の学校教育や、生涯学習の推進 公民館、スポーツ施設などの運営の ための経費</p>	<p> 公債費</p> <p>3万7,724円 9万3,844円</p> <p>市の借入金の返済のための経費</p>	<p> その他</p> <p>743円 1,848円</p> <p>労働費・予備費などの経費</p>

合併特例債の活用状況

●古河市が借り入れる市債には、返済（償還）するお金の一部が国から交付税として補填されるものなどさまざまな種類のものがありますが、その中で古河市がもっとも多く借り入れをおこなう「合併特例債」の内訳を示しています。

平成27年度合併特例債活用額

◇子育て広場整備事業	5,670万円	◇筑西幹線道路整備事業	4,400万円
◇斎場環境整備事業	1億4,240万円	◇新4号国道アクセス道路整備事業	4,530万円
◇道路新設改良事業	5億9,150万円	◇仁連江口線道路整備事業	390万円
◇古河駅西口地区整備事業	1,840万円	◇ネーブルパーク整備事業	5,760万円
◇仁連地区都市再生整備事業	8,820万円	◇古河第一小学校改築事業	4億8,860万円
◇青少年ホーム代替施設建設事業	1億1,140万円	◇古河第二小学校改築事業	2億4,130万円
◇三和地区公園整備事業	480万円	◇小学校散水設備整備事業	5,870万円
◇桜町上辺見線南町工区Ⅰ道路整備事業	6,030万円	合 計	20億1,310万円

※合併特例債とは、合併した市町村が新しいまちづくりのための財源として借り入れをすることができる地方債（借入金）で、事業費の95%まで借り入れることができます。後年度に発生する返済金（償還金）の70%が、普通交付税によって補填される仕組みとなっていることから、地方にとっては極めて有利な財政措置となっています。

市の貯金

平成26年度末(見込)

69億2,688万円

(市民1人あたり 4万7,761円)

※ 平成27年3月1日現在の古河市の総人口
14万5,031人で計算しています。

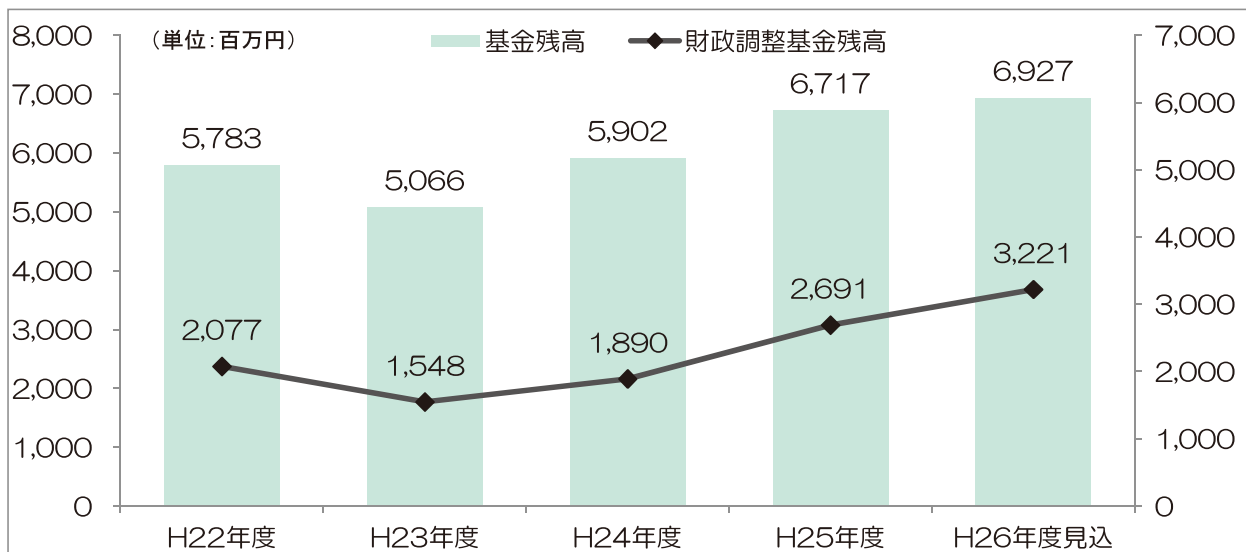
年 度	市民1人あたりの基金残高
平成22年度末	3万9,874円
平成23年度末	3万4,934円
平成24年度末	4万 692円
平成25年度末	4万6,316円
平成26年度末(見込)	4万7,761円

各基金の残高

基金名	平成26年度末見込
財政調整基金	32億2,102万円
減債基金	6億2,386万円
公共施設整備基金	1億9,323万円
ふるさと振興基金	3,622万円
新駅設置準備基金	3,951万円
教育振興基金	965万円
地域福祉基金	3,292万円
自治振興基金	7億5,250万円
合併特例振興基金	14億 616万円
企業立地調整基金	4億2,376万円
その他	1億8,805万円
合 計	69億2,688万円



基金残高の推移



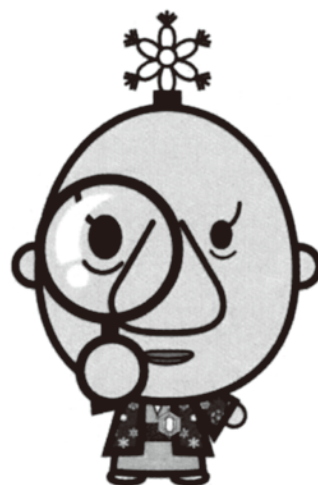
市の借金

平成27年度末(見込)

961億2,777万円

(市民1人あたり 約 66万円)

※ 平成27年3月1日現在の古河市の総人口
14万5,031人で計算しています。

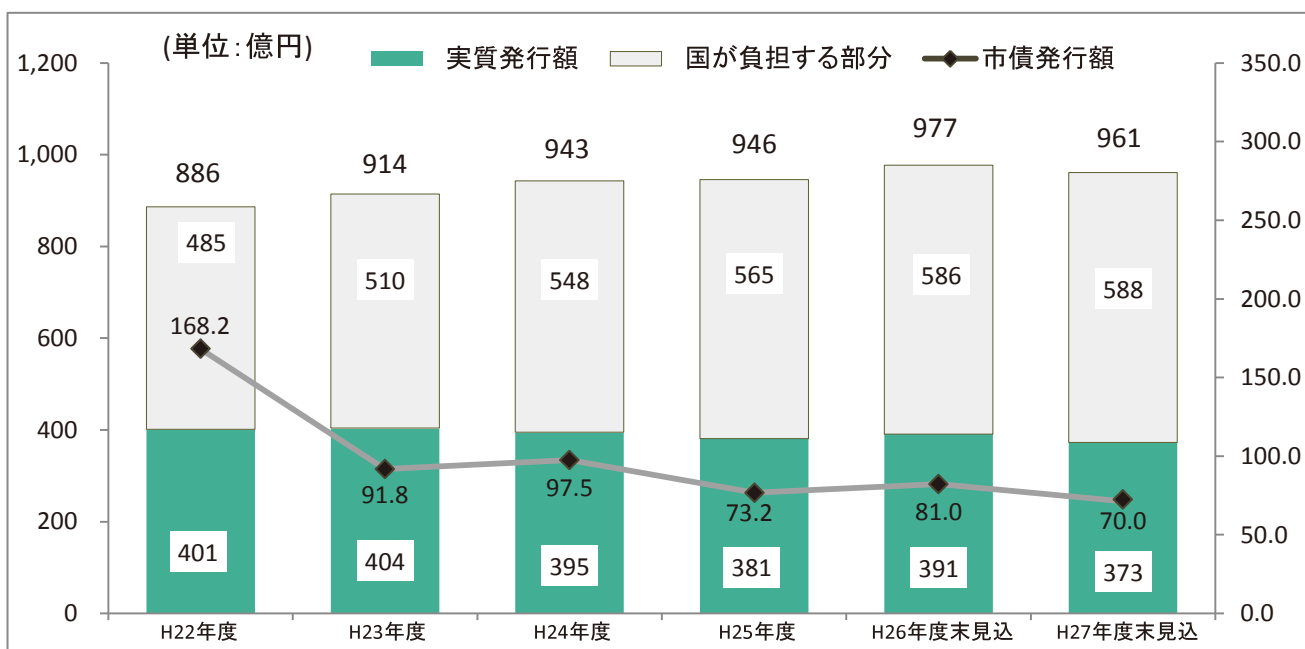


「ゆきとのくん」
古河商工会議所
イメージキャラクター

会計別市債残高

会計区分		平成25年度末	平成26年度末見込	平成27年度末見込
一般会計		591億7,737万円	635億7,692万円	638億1,761万円
特別会計	公共下水道事業	185億3,515万円	182億4,042万円	174億9,353万円
	農業集落排水事業	51億3,681万円	49億3,884万円	47億3,285万円
	古河駅東部土地区画整理事業	18億6,796万円	19億 247万円	17億3,563万円
	片田南西部土地区画整理事業	8億 685万円	7億9,512万円	6億7,480万円
	公共用地先行取得	10億7,607万円	8億8,867万円	7億 128万円
水道事業会計		79億6,882万円	73億2,644万円	69億7,207万円
合計		945億6,903万円	976億6,888万円	961億2,777万円

市債残高の推移

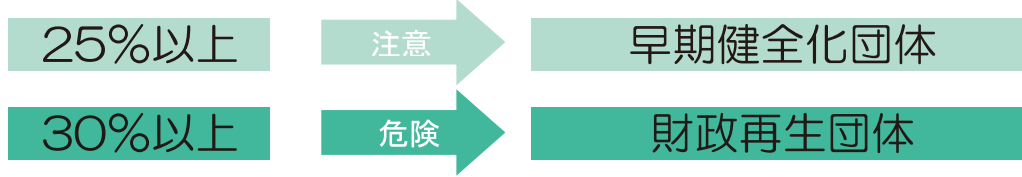


財政の健全性

1. 実質公債費比率

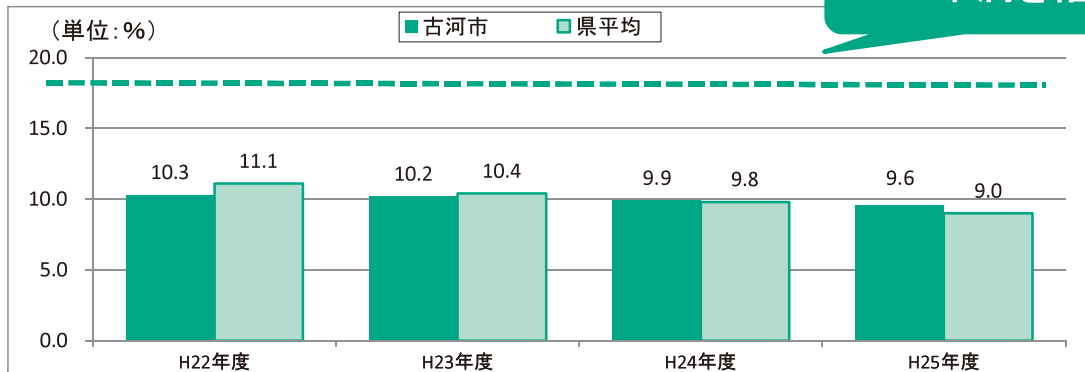
実質公債費比率とは

実質的な公債費(市債の返済)が、地方公共団体の財政に及ぼす負担を表す指標です。3カ年平均の数値で表します。



- 古河市は「9.6%」であり、早期健全化団体とされる「25%(注意)」を大きく下回っています。
- 市債発行の際に、県知事の「同意」から「許可」に変更となる基準である「18%未満」を維持するよう努めます。

実質公債費比率の推移



2. 将来負担比率

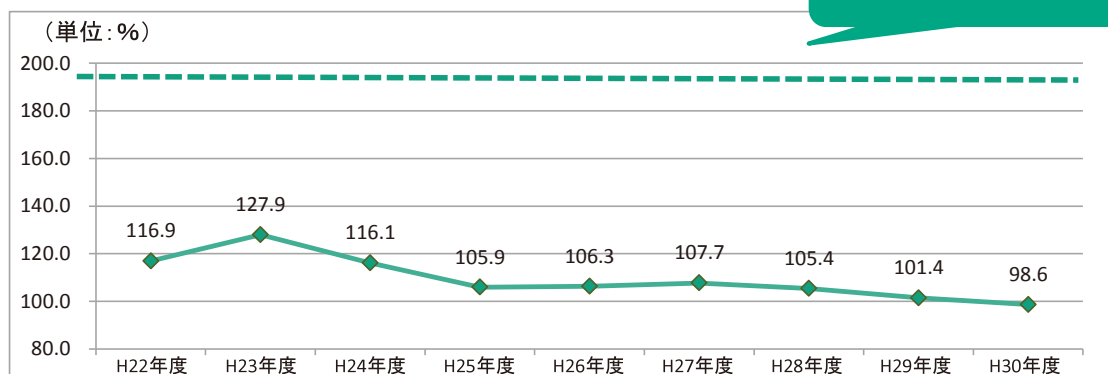
将来負担比率とは

市などの自治体が、将来支払う可能性のある負債の一般会計等に対する比率です。



- 古河市は、平成26年度末(見込み)において「106.3%」であり、早期健全化団体とされる「350%(注意)」を大きく下回っています。
- 第2次古河市行政改革大綱で示す「早期健全化ライン350%の約2分の1(180%以内)」を維持することとしています。

将来負担比率の推移(試算)



予算を「家計」にたとえると？

一般会計の当初予算（498 億円）を年間の収入が 500 万円の家計に置き換えて説明します。

給与のうち、基本給の多くが市民の皆さんが納めた市税です。諸手当のうち、地方交付税はどの市町村も標準的なサービスを受けられるよう地域間格差を解消するため、国から交付されるものです。



「9歳桃香」
©2013古河市文化協会/K.Asano#261271

こが家・1ヵ月の家計簿

《収入》	
給与	38万4,900円
・うち基本給 (市税などの自主財源)	(18万 700円)
・うち諸手当 (地方交付税、国・県支出金など)	(20万4,200円)
銀行からの借入 (市債)	3万 円
貸したお金の返済金 (貸付金元利収入など)	1,100円
計	41万6,000円

《支出》	
家族の医療費 (扶助費)	10万4,100円
ローンの返済 (公債費)	4万5,700円
食費 (人件費)	6万 900円
光熱費や通信費など (物件費など)	5万6,500円
家・車・家電製品等の修理、買換え (維持補修費、普通建設事業費)	4万9,900円
家族への仕送り (繰出金、補助費)	9万8,200円
貯金や友人などに貸すお金 (積立金、貸付金)	700円
計	41万6,000円



家族の医療費(生活保護費などの扶助費)、ローンの返済(公債費)、食費(人件費)の3つは、「義務的経費」と呼ばれています。この比率が高いと、家計にあまり余裕がないこととなります。ちなみに古河市の歳出総額に占める義務的経費の割合は 50.7%です。